

2019~2020年度 YAMAGATA EVENING ROTARY CLUB 山形イブニングロータリークラブ会報

第798回例会(第20回例会) 2019年12月16日

事務局
山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2階
TEL 023-632-7777 FAX 023-624-5200
E-mail: evening09@rid2800.jp
H P: https://www.yere-rc.com

例会場: バレスグランデール 例会日: 月曜日18:30~
会長◎後藤卓也



後藤会長挨拶



今日は年末忘年会等重なっている中で、出席いただいた会員の皆さんには本当にありがとうございました。今日の例会は久々の他ロータリークラブからの講師例会です。今日の講師は上山ロータリークラブのSAAを務めておられる枝松祐子さんです。

今ロータリークラブ全体が、会員増強の中でも特に女性会員の勧誘・増強が強く叫ばれております。残念ながら当クラブにおいては、女性会員は高橋洋子さんだけで、高橋洋子さんは職業柄なかなか例会に出席してもらえず、今までも在籍いただいた女性会員は、夜の職業の方が多く、なかなか定着しなかったのが現状です。枝松さんは、上山ロータリークラブにおいては、極めて能動的な会員であり、今日はだんなさんが、私の高校時代の同級生というよしみもあり、「女性会員から見たロータリー」をテーマとして卓話をお願いいたしました。

先週の例会は、ロータリー補助金事業である山形市子ども会育成連合会主催の「ドッジボール大会」でした。日曜日という事もあり、会員の参加が少なかったのは残念でしたが、「かけっこリレー駅伝大会」の横断幕に続き、横断幕とスポーツドリンクを参加した子ども達に提供しました。私は開会式と予選の試合を見た後に、所要で失礼しましたが、担当の渡邊大委員長には閉会式まで出席いただき、ありがとうございました。十数年前に息子がスポーツ少年団でバスケットボールをやっていた時には、必死にプレーしている子ども達のひたむきな姿勢にいつも感動していましたが、久々に子ども達の球技大会を見て、改めて集団球技スポーツの素晴らしさを感じました。準決勝・決勝と感動的な試合だったそうで、見れなかったのは今も残念です。今週末はいよいよ恒例のクリスマス家族会です。三沢エレクト・結城幹事を中心として企画していただいておりますので、楽しみにしております。準備宜しく願いいたします。以上会長挨拶です。

上山RC 枝松祐子会員卓話

第798回例会は、上山ロータリークラブでSAAを務めておられます枝松祐子会員をお招きしての卓話例会でした。枝松さんの様々な苦労を経てロータリークラブに入会され、現在能動的にロータリークラブ行事に参加されている姿勢がお話しから伝わり、出席会員一同感動しながら聞いていました。次頁に枝松さんからいただいた卓話内容をそのまま掲載させていただきます。



時間 (タイムスケジュール)

- 18:30 開会点鐘 : 後藤会長
- 18:31 RCソング「四つのテスト」
- 18:33 ロータリー目的唱和
- 18:35 会長挨拶 : 後藤会長 *ゲスト紹介
上山RC 枝松様
- 18:39 幹事報告 : 結城幹事
- 18:41 委員会報告
- 18:50 ニコニコBOX

本日のプログラム/ゲスト卓話例会

- 19:00 : 枝松様 (上山RC)
- 19:27 出席報告 : 浦山SAA
- 19:30 閉会点鐘 : 後藤会長



幹事報告

- 12月21日の土曜日はクリスマス家族例会です。現在ゲストと会員、家族含め39名のご参加予定となっております。是非昨年同様楽しい会にしたいと思います。たくさんのご参加よろしく願い致します。
- また、当日お子様に後藤サンタよりプレゼントをお渡ししますのでご準備頂きたいです。予算は5000円

ニコニコBOX

枝松祐子さん、天口信裕さん、浦山一豊さん、後藤卓也さん、鈴木淳悦さん、服部彰彦さん、三沢徳眞さんからニコニコをいただきました。

◆出席報告

| | 会員総数 | 出席義務会員数 | 出席会員数 | 出席率 |
|--------|------|---------|-------|---------------|
| 本日 | 29 | 26 | 12 | 46.15% |
| 12/2修正 | 29 | 26 | 13 | 38.46%→50.00% |

上山ロータリークラブ 枝松祐子様 卓話内容

皆様 こんにちは。本日は山形イブニングRC様での卓話の機会を与えて下さりまして、誠に有難うございます。後藤会長様、結城幹事様、そしてご出席の会員の皆様様に御礼申し上げます。

9月の貴クラブ創立20周年記念は華々しく挙行され、本当におめでとうございます。とても盛大な、式典、祝賀会に後藤会長を始め、須藤実行委員長、会員様全員の熱のこもったおもてなしにとっても感動致しました。素晴らしかったです。改めてお祝い申し上げます。

今夜は何をお話しようか、いろいろ考えて参りましたが私の2人の父のことからお話させて頂こうと思います。

私の実家は山辺町です。父は県職員、母は専業主婦です。まだ、文翔館が県庁だった頃、父は毎晩のように七日町、小姓町、花小路の繰り出し、帰宅はいつも夜中でした。

山形イブニングRC様の創立20周年記念品の高橋義夫先生の本を父にプレゼントしました。大変喜んでもらえました。写真など懐かしく家の2階から高橋義夫さんの書籍や新聞のスクラップ記事等を取り出し、当時の賑やかな思い出を語ってくれました。父は無類の本好きで、特に昭和の風俗や民俗学の本がたくさんあります。高橋さんの記念講演の中にもありました「ソシュウ」にはよく通ったそうで、当時を知る生き証人です。

父は県職員定年後、技能士会というところに4年間お世話になり、1998年山形県で行われた「ねんりんピック」の開催に携わりました。能力開発協会との連携で技能オリンピックにも関わり、職業訓練校で教える資格を与えるための講習会で講師を数年間務めました。職業訓練の大切さを技能的、心理、道徳、生活指導と他方面からカリキュラムを組み、48時間の講習を担当しました。今年83歳、お陰様で今も自宅で元気に暮らしております。

もう一人の父は私の嫁ぎ先の父です。父は電気工事会社の上山営業所の所長でした。昭和の高度成長期、小学校や旅館の増築等、右肩上がりでした。

父が55歳の時、上山RCに入会し、所長を退任するまでの5年間在籍していました。

実は、父はポリオサバイバーでした。3歳の時上山の自宅で感染しました。父が生まれた昭和5年頃はまだワクチンなどなかったでしょう。母親と一緒に蔵王温泉や高湯温泉に行き、マッサージや温泉で身体を治そうとしていたようです。背骨が傘の持ち手のように湾曲し、足の長さが違うため思うように動きませんでした。でも、持ち前の負けず嫌いな性格と明るさからか、小学校に入ったところ、友達と近所の法門寺で本堂の屋根を超えるか小石を投げていたそうで、ただ一人超えたそうです。そのあとはご住職に相当怒られたことでしょうか。

また、草野球のような遊びをしていたそうですが、父はバッターボックスで球を打つと、他の仲間が代走に走っていたそうです。

大人になって、所長になっても障害者申請はせず、定年後初めて申請をしました。身体の不自由さからか、自宅を営業所にしていましたが、平成7年に営業所を移転、空き事務所になったところへ上山RCが事務所を構えました。

私は平成9年に縁があり枝松家に嫁いできましたが、それまでロータリークラブがどんな団体か全く知りませんでした。父からロータリーの話聞いたこともなく、会員だったことすら知りませんでした。

父は平成22年に亡くなりました。男性の平均年齢の79歳まで生きました。

私が小学校入学の時、ロータリーの歯車のマークが入っている透明な下敷きをいただきました。当時は不思議なマークがとても気になったのを今でも覚えています。それは山辺RCさんからの入学祝いのプレゼントだったようです。

中学生の3年間、JRC(日本青少年赤十字)委員でした。3年の時は副委員長を務めました。使用済み切手を集めたり、JR羽前山辺駅の清掃活動などを呼び掛けましたが、誰からも賛同してもらえず、1人で掃除したり孤立していました。「いい子ちゃんぶって」「内申書良くしたいんだらう」と言われ、ク

ラスで誰からも相手にされず無視され、とても寂しい学校生活を送りました。

その後、大人になり社会人として仕事をしますが、いつの時も誰かのために、何か自分がお役立ち出来ることを探しながらひっそり生活していました。

もちろん順風ではありません。山あり谷ありのジェットコースター並みの人生です。でも学生時代の孤独を味わっていたため独りでも十分楽しく過ごす事を知っていました。私を救ったもの……それは編みものでした。

縁あって結婚し、また縁がめぐってロータリーと出合った時、私の中に光が差し込みました。「これだ！」立派な方々が「奉仕」について真剣に話をされ、実行していらっしゃる。感動しました。学生時代の寂しい思いが例会場に入った瞬間、消えて無くなりました。

私を受け入れてくださった上山RCの皆様にとっても感謝しています。当時の会長から「会員にならないかい？」とお誘いを受け、即座に「なります！」と返事申し上げました。ようやく安住の地を見つけた気がしました。

私がすんなり受け入れられた理由の一つは子供の頃からの厳しいしつけと教えが基礎として築かれていたことです。誰かのために自分が出来ること、礼儀正しく正直に暮らすこと。私にとってロータリーは人生という料理に欠かせないスパイスのように味に深みや風味を加えてくれる欠かせないものです。

現在、上山RCには2人の女性会員がおります。月岡ホテルの堺美奈子さんです。彼女が例会場に現れるとぱっと花が咲きます。

私は今年度SAAを拝命しており、毎回例会の進行役を受け持っています。もちろん事務局員の仕事もしておりますので、まず、会員の皆様が例会場に入られると「こんにちは」の挨拶から始め、お茶出しをしています。時には緊張し、食事ものを通らず、また、時には上山を代表する方々と一緒に時間を共有できる喜びに胸を躍らせています。

私の中で何より嬉しいことは、「やっかみがない」事です。中学校の時のような思いをしなくてもいい。お互いが尊重し、同じ奉仕の理念を共有できる環境の中に身を置くことができる事です。

それは「女性」だから「男性」だからという縛りのない世界観をロータリーの中に見出していることではないかと思います。

以前、会員増強セミナーの席で「女性会員の会員増強」について一言申し上げた事があります。「ロータリーという男社会で頑張っている枝松さん」と言われたことです。先日2800地区のガバナーノミニに鶴岡RCの佐藤孝子さんが選出、承認されました。女性のガバナーの誕生でどんな反応が起こるのかこれから見守りたいと思います。

最後に……

現在事務局の仕事しながら、イオン天童、東根、山形北店の手芸用品売り場パンドラハウスの中で手編みを教えています。生徒さんは少なく、時代に全く合わないのかなとも思っています。

ファストファッション、手芸も短時間で出来上がるものが受け入れられ、完成に数日かかるものは敬遠されます。ましてや、欲しいものが売り場に溢れています。

手編みを職業にしている所は現在、東日本大震災で被災した気仙沼にあります。カーディガン1着20数万円します。糸にこだわり、オンリーワンを求めて高額にもかかわらず、予約待ちで購入できるまで数年かかるそうです。

イギリスの北部アラン諸島の漁師の奥さん達が内職にセーターを編んで販売していたノウハウをコピーライターの糸井重里さんがインスパイアされて気仙沼で立ち上げました。今は糸井さんの手を離れ独立した会社組織になっています。

私の2人の父親の話、私がロータリーと出合った経緯、ロータリーが大好きな理由をご理解いただけたらとても嬉しいです。これからもたくさんのお会いがありますことを願っています。

上山にお越しの際はぜひ事務局にお立ち寄りください。おいしいコーヒーでお待ちしております。

ご清聴ありがとうございました。